

歯・口の健康診断のお知らせに使用されている用語と対応について説明します。

歯・口の健康診断は、スクリーニング方式（ふるい分け検査）が採用されています。つまり、学校では①問題のない者、②指導や管理が必要な者、③治療や精密検査が必要な者の3通りに分類します。そして、②、③についてはかかりつけ歯科医院での適切な管理・指導や、精密検査、治療が必要です。できるだけ早くかかりつけ歯科医院を受診して下さい。

◇ CO（シーオー）とは、定期的な経過観察が必要な状態のことです。

歯の溝が黒い、歯の表面が白く濁るなどの症状の歯で、そのまま放置するとむし歯になる可能性が高い歯です。対応策としては、間食指導、個人の歯並びに合わせたブラッシング指導およびフッ化物塗布などが効果的です。必要に応じてかかりつけ歯科医の指導や継続的な管理をおすすめします。

◇ CO（要相談）とは、むし歯の可能性が高く精密検査が必要な状態のことです。

対応策としては、できるだけ早く、かかりつけ歯科医院でレントゲン検査などの精密検査を受け、適切な処置や管理指導を受けましょう。

◇ C（シー）とは、明らかにむし歯と確認できる状態のことです。

できるだけ早く、かかりつけ歯科医院で治療を受けましょう。

◇ GO（ジーオー）とは、歯石がついていない軽度の歯肉炎の状態です。

対応策としては、間食指導、丁寧なブラッシングなどが効果的です。また、必要に応じてかかりつけ歯科医の指導や継続的な管理をおすすめします。

◇ G（ジー）とは、歯石がついている進行した歯肉炎の状態です。

できるだけ早く、かかりつけ歯科医院で治療、歯みがき指導および継続的な管理を受けましょう。

◇ 歯列・咬合の不正とは、歯並びやかみ合わせが正常の範囲を超えた状態にあることです。

成長発育の過程によって、早急に治療が必要な場合と経過観察が必要な場合がありますので、学校での健康相談を受けて下さい。